

# データ入稿時の注意事項

お客さまにAdobe Illustratorでの完全データ入稿を頂く必要があります。  
ここでは弊社で印刷に対応が可能なデータとはどのような物かをご説明致します。

1. Adobe Illustratorでの入稿（Illustrator ccまで対応）
2. フォントのアウトライン化が必要
3. CMYKモードでのデータ作成
4. ミリメートル設定でのデータ作成
5. 画像のリンク切れについて
6. 画像解像度について
7. Illustratorのデータ入稿は1/10サイズ
8. トンボ（塗りたし）を作成する
9. データの推奨範囲内にデータをおさめる
10. 仕上がりイメージの確認PDF（JPG）を添付
11. データを圧縮して送る



### 03. CMYKモードでのデータ作成

普段我々が視覚的に映像で見る色鮮やかな写真や風景は、全てRGBモードで作成されています。これはテレビやパソコンを通して見るためのカラーモードですが、幕は印刷機を使ったインクを用いての印刷となります。そのため、CMYKモードに変える必要があるのです。

Illustratorのカラーモードは勿論、データに使用するリンク写真もCMYKモードにてご入稿ください。

#### CMYKカラー(色の三原色)

印刷用のデータは通常CMYK。インクを3色混ぜると黒になり、明度を下げて色を表現するため、減法混色といいます。

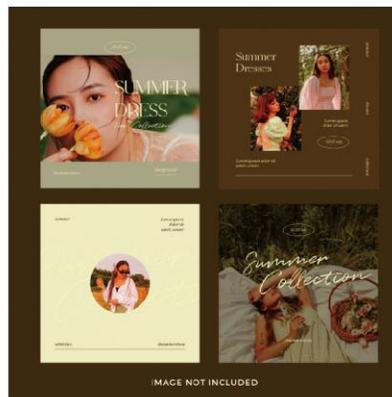


#### RGBカラー(光の三原色)

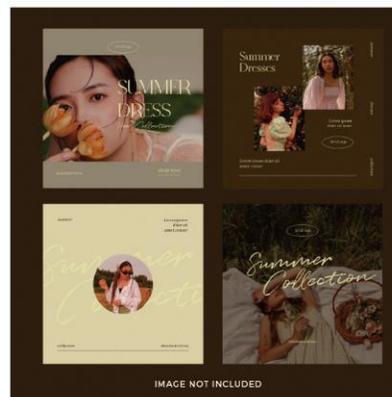
WEBなどで使われるのがRGB。光の3色を重ねると白になり、明度を上げて色を表現していくため、加法混色といいます。



RGBカラー(光の三原色)



CMYKカラー(色の三原色)



CMYKカラーはRGBカラーより色の表現できる領域が狭いため、RGBカラーでデータ入稿するとCMYKに変換時、仕上がりと差が大きくなってしまいう可能性が高くなります



#### IllustratorでのデータCMYK変換のやり方

ファイル→ドキュメントカラーモードをCMYKに設定してからデータの作成をお願いします。

## 04. ミリメートル設定でのデータ作成

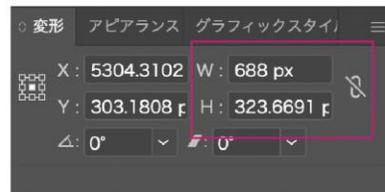
Illustratorでのサイズ設定はミリメートルを必ずご利用ください。

ピクセル、ポイント、インチ等の設定ですと正しいサイズで作成出来ていない可能性があります。設定は環境設定→単位→一般からミリメートルを指定してください。

同じデータサイズでも・・・



px(ピクセル)の場合

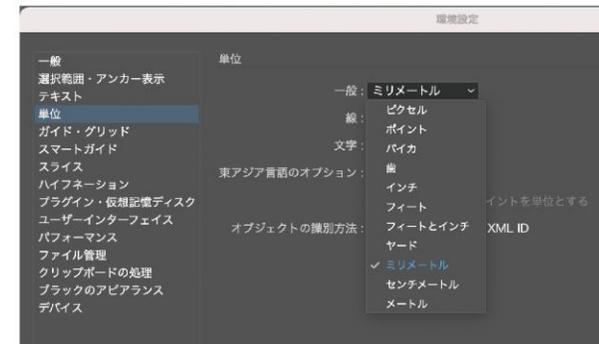
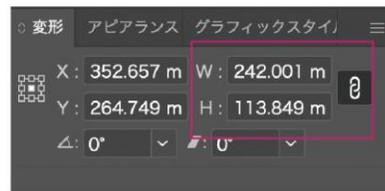


「mm」や「cm」、「ポイント」や「インチ」など、単位を勘違いして設定していると「印刷サイズが注文したサイズと違います。」となってしまう場合があります。

印刷物のサイズは「ミリメートル」を基準としているのでサイズ設定をする際は必ず「ミリメートル」の単位に設定したサイズで作成してください。



mmの場合



単位変換のやり方

- 1 Illustratorの環境設定→単位→一般→ミリメートルを選択します。

## 05. 画像のリンク切れについて

Illustratorに写真をリンク配置した際に、その写真も一緒にご入稿頂く必要があります。

画像の埋め込み行為はアップロードサーバの負担となるため、リンク画像での入稿を推奨させて頂いております。

Adobe CCより導入されたパッケージ機能を使って、簡単に入稿に必要なデータを一つのフォルダに集める事が可能です。



リンクされている状態 ○

リンク画像が不明な状態 ✕

リンク画像が埋め込まれている状態 ✕



### リンク画像収集のやり方

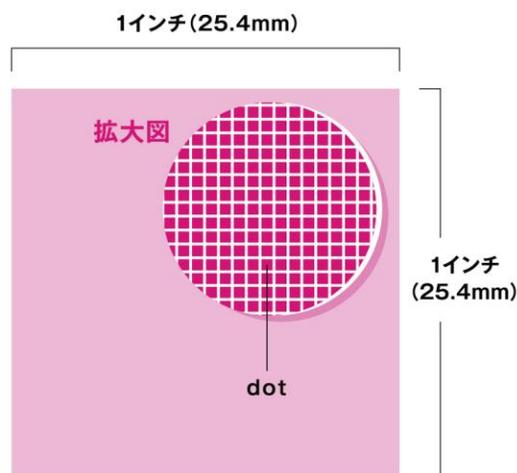
- 1 Illustratorのファイル→パッケージを選択します。
- 2 保存先を指定→パッケージを選択すれば、画像を一つのフォルダに収集できます。



## 06. 画像解像度について

画像解像度とは「画像のきめ細かさ」を表します。解像度はdpiで表し、1inchの中にドットがどれだけあるかで解像度が決まります。もともと解像度の低い画像を、サイズを保ったまま高解像度に修正することはできません。弊社にて解像度を変更し印刷することはできませんので、修正はお客様にてしていただきますようお願い致します。

印刷に適した画像解像度は、300dpi~350dpiです。（グレースケールの場合は600dpi、モノクロ2階調の場合は1200dpi推奨）



### 解像度350dpiの場合

350dpiは、1インチあたりに350個のdot(ドット)がイメージを表現することを意味しています。その為、縦横1インチの画像の場合、 $350 \times 350 = 122,500$ 個のdot(ドット)として表現されるということです。

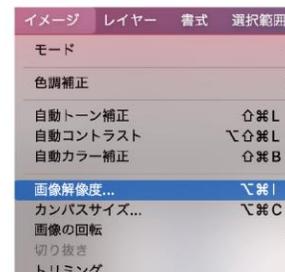
### 1枚の画像を2パターンで見比べてみます

解像度が高い画像(350dpi)     解像度が低い画像(72dpi)



PC上ではキレイな場合でも、印刷すると粗い場合は画像の解像度が元々低いということになります。Webで使用している画像などは72dpi程度なので、印刷には適していません。※画質は入力時点での解像度で画質が決まりますので、もともと画像解像度の低いデータを修正して高解像度にすることはできませんのでご注意ください。

### 解像度の変更のやり方



1 Photoshopのイメージ→画像解像度



2 実際のご注文をする実寸を入力し、解像度は高解像度で入力。

実寸のサイズを入力

300~350dpi

必ずチェックを入れてください

## 07. Illustratorのデータ入稿は1/10サイズ

例えば5400×5400mmのデータをIllustratorで原寸で作ると非常にデータ容量が重くなります。基本的に1/10サイズに縮小頂き、ご入稿ください。

弊社にて出力時に原寸サイズに拡大して出力させていただきます。

データに効果などを使用されている場合、縮小される際にはIllustratorの環境設定→一般の「パターンも変形する」「角を拡大・縮小」「線幅と効果も拡大・縮小」には必ずチェックを入れてください。

※画像サイズは縮小せず、印刷サイズの原寸のまま配置してください。

## 08. トンボ（塗りたし）を作成してください

トンボとは実際の仕上がり以上にデータを作成しておく事で、仕上がりサイズでカットした際にターポリン生地がそのまま出ないようにする為に重要な方法です。仕上がりサイズしかデータがない場合、カットの際にズレた場合何も印刷されていない生地がそのまま仕上がりに出て来ます。Illustratorで1/10サイズで作成したものにトンボをつけ、伸ばしを作ってお入りください。

カットライン(断裁位置):

この線は実際にはスミ無し  
(ガイドでもOK)をお願いします



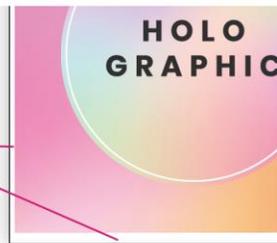
印刷物を断裁する際、若干のズレ(数mm程度)が生じる事があります。

そのズレを防ぐ事は出来ませんが、弊社ではそのズレによる問題を少なくするために+10mmの塗り足しをお客様にお願いをしております。

**原寸サイズで+10mm必要なので、1/10入稿データサイズでは、+1mmの塗り足しが必要です**

塗り足し無しでの  
入稿の場合

白フチが出て  
しまいます



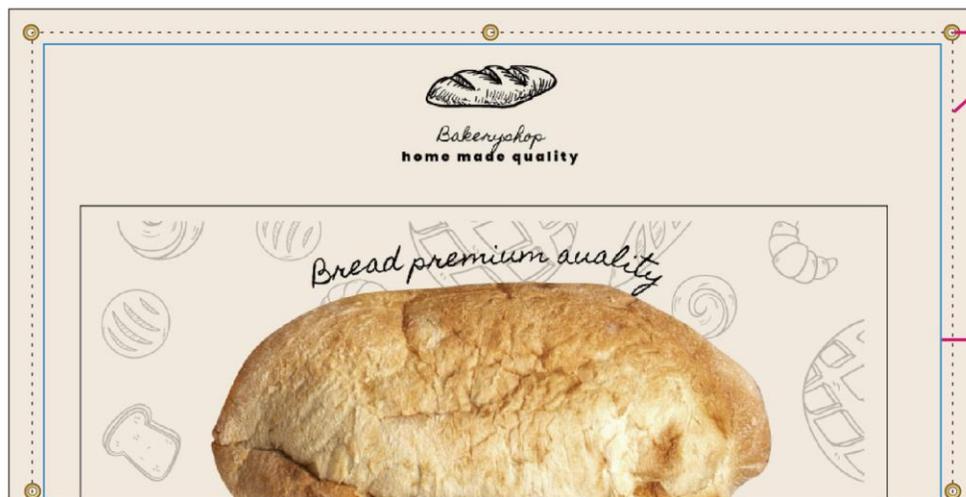
塗り足しがないと断裁ズレがおきたときに…

塗り足しを作成しないとズレが発生した場合、仕上がり線に沿って紙白が覗いてしまう恐れがあります。

## 09. データの推奨範囲内にデータをおさめてください

ハトメ加工をご利用の場合、図のように20mm内側に打ち込みます。周囲ロープ縫込みハトメ加工など縫製がある場合、35mm内側に縫い込みます。

それぞれ40mm 内側 までにデザインをおさめる事を推奨致します。



ハトメは注文サイズの端から  
20mm内側に打たれます

周囲ロープ縫い込みなどの  
縫製加工は端から35mm  
内側にきます

文字がハトメにかかると見え難くなるので、  
注文サイズから40mm内側で文字等を  
完結させることをオススメします。

## 10. 仕上がりイメージの確認PDF（JPG）を入れてください。

確認用 PDF（JPG）がない場合、チェック作業は行わずデータ入稿のまま製作致します。

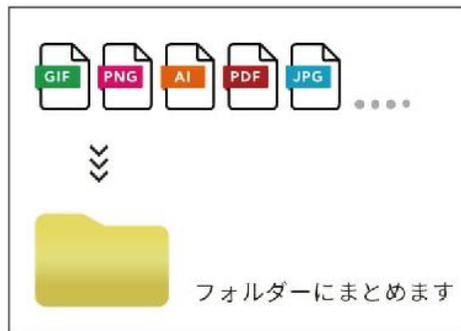
デザイン毎に制作枚数が違う場合や、デザイン毎に送り先が違う場合も確認用 PDF（JPG）にて指示を入れてください。

Illustratorで効果やパターンを使用している場合、⑥の注意事項に気をつけながら確認用 PDF（JPG）を作成ください。

## 11. データは圧縮して送ってください。

データを入稿するときは、圧縮してファイルをコンパクトにまとめましょう。圧縮して1つのファイルにすることで、入稿が簡単安全になります。

### ①必要なデータを 一つのフォルダーに集めます

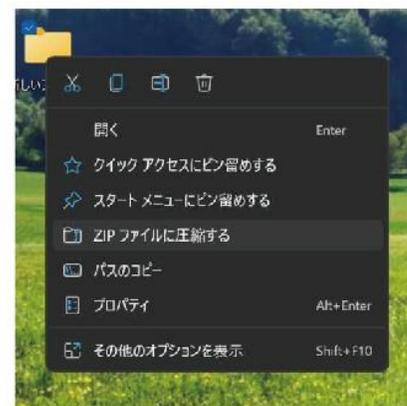


### ②データの圧縮をします



#### Macの圧縮方法

データを集めたフォルダを「control」キーを押しながらクリック、もしくは右クリックします。次に、「入稿データ」を圧縮」を選択すると、フォルダーが圧縮されZIPファイルができます。



#### Windowsの圧縮方法

データを集めたフォルダを右クリックします。次に、「送る」→「圧縮 (ZIP形式フォルダ)」を選択すると、フォルダが圧縮されZIPファイルができます。